

第56回 春期
ウィーンナー ムジーク セミナー¹
ウィーン国立音楽大学

Wiener Musikseminar

要 項



主催 株式会社東京国際ツアーズ

後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

＜実施概要＞

Wiener Musikseminarは今年で56年目を迎えました。オーストリア共和国連邦首相ならびにウィーン市長の支援のもと、ウィーン国立音楽大学で講習会を開催いたします。毎年およそ30ヶ国から300人以上の受講者の参加があります。ヨーロッパ、アメリカ各地の音楽大学とウィーン国立音楽大学の教授を中心とした教授達が個人レッスンを行います。言葉が不安な方は日本語通訳をつけることも可能です。

＜開催地＞

ウィーン国立音楽大学

レッスン予定日： 月～金：9時～17時

※夜コンサートがある場合、17時以降にレッスンを行う場合もございます。

※参加者の人数等によっては、土日にレッスンを行う場合があります。

＜マスタークラス日程＞

2026年2月16日（月）～2月25日（水）

- ・声楽 : Zoryana Kushpler、Sona Ghazarian
- ・ピアノ : Alexander Rössler、Vladimir Kharin
- ・ヴァイオリン : Elisabeth Kropfitsch
- ・フルート : Barbara Gisler-Haase
- ・クラリネット : Kurt Franz Schmid

＜イベント予定＞（2025年11月現在の予定です）

2月16日：大学内で全体オリエンテーション

2月23日・24日：各クラスのコンサート

2月25日：参加者コンサート

＜講習会参加費＞

申込金：195ユーロ

受講料：598ユーロ

※申込金、受講料、通訳料はご請求発行時の当社規定レートにて、日本円でご請求いたします。

通訳料：190ユーロ（希望者のみ）

※音楽を専門にした日本人の通訳を手配いたします。

※通訳を希望しない場合でも、教授が受講の際必要と判断した場合は、

現地にてお申込みいただきます。通訳費用は、現金（ユーロ）にてお支払いください。

※レッスン受講者は原則として全てのレッスンが無料で聴講可能です。15歳以下の参加者の付添者はご自身のお子さんのレッスンのみ無料で聴講可能です。

<レッスン内容>

60分レッスン×4回 (240分を4回以上に分割する場合もあります。)

作曲者の異なる曲を3曲程度ご用意ください。

※4時間分のレッスンがございますので、曲の尺が短いようであれば、複数ご用意することをお勧めします。

＜滞在ホテル＞

MyNext Hotel Rudy

住所Schelleingasse 36, Vienna 1040

Tel: +43 677 627 408 48

rudy@mynext.at



＜宿泊及び参加費用＞

◆シングルルーム 450,000円

◆ツインルーム（2人利用） 350,000円

（お部屋の割り当ては弊社に一任頂きます。ご家族やご友人でご利用がある際は事前にご連絡ください）

【上記費用に含まれるもの】

- 1)マスタークラス申込金および受講費、聴講費
- 2)ホテル宿泊代金（11泊分・全て朝食付）
- 3)平日の夕食代金
- 4)現地事務局員諸経費
- 5)海外送金手数料

【上記費用に含まれないもの】

- 1)事務手続き代金 22,000円
- 2)往復航空券 ※下記オプションをご参照ください
- 3)通訳費
- 4)昼食代金
- 5)夕食時の飲み物代金、週末（土・日）の夕食代金
- 6)現地での移動に伴う交通費および自由行動中にかかる費用

【オプション】

＜航空券＞ご希望の方は別途料金にて手配を承ります。

2月14日（土）東京（成田・羽田）発→2月27日（金）東京（成田・羽田）着予定

航空券手配に伴う諸費用（燃油代金、国内空港使用料等、航空保険料、現地国際空港税）は、
含まれておりません。

【エミレーツ航空】

～12月12日（金）までにお申し込みの場合：120,000円（燃油・諸税別途）

＜申込締切日＞

2025年12月12日（金）12:00必着

【限定 早期割引】10組限定で120,000円（燃油・諸税・発券手数料別途）で提供！

この機会に是非ご利用ください。

※2025年10月のレート時点、変動になる場合がございます。

＜ウィーン国立音楽大学受験を希望する方々へ＞

ウィーンナームジークセミナー開催期間中に、ウィーン国立音楽大学に留学を希望する方々を対象とした受験ガイダンスを行います。留学を決めている方はもちろん、まだ留学をするかどうか迷っている方も、このセミナーにご参加いただければ、ウィーンの留学現地事情をご理解いただけます。

※ガイダンス時には日本語版の留学資料もお渡します。

♪受験ガイダンス内容

1. ウィーン国立音楽大学2026年新年度の入試受験曲案内
2. 受験の際のドイツ語テストについての案内
3. 受験の際の楽典試験の内容と対策
(毎年出題パターンがおおよそ決まっているため参考資料をもとにご説明)
4. ウィーンの生活
(長期滞在に必要となるオーストリアが発給するビザについての説明も含む)
5. 保険(病院などへかかる場合に必要な保険について)
6. 銀行口座の開設
7. 住まい(家)探し
8. ピアノレンタル
9. 電話インターネットの接続等の案内
10. 他個別質問にも回答いたします

※参加人数が多数の場合、実際に留学をしている方、または最近まで留学生として学生だった方をゲストとしてお招きして実際の体験談をお話しいただきます。

参加希望の方は申込フォーム内の「受験ガイダンス」欄の「参加」をお選びください。

※申込は現地でも可能です。その場合費用は現地払いとなります。

＜修了証＞

コース終了後にディプロマ（受講者）またはコース参加証（聴講者）をお渡しいたします。

＜申込方法＞

お申込金（内金）として50,000円を以下の口座にお振り込みの上、HPまたは募集要項巻末の申込フォームからお申込みください。パスポートコピー、振込明細書（お客様控え）のコピーを申込フォームに記載のinfo@ti-tours.comまで添付にてご提出下さい。

※パスポートを取得予定の方はその旨を申込フォームに記載のうえ、取得後速やかにコピーをご提出ください。

【お申込金振込先口座】

巣鴨信用金庫 西日暮里支店 普通 3187715 株式会社東京国際ツアーズ (カ)トウヨウコクサイアーズ

＜キャンセルについて＞

- ・事務手続き費用 22,000円。申込後のキャンセルの場合、ご返金いたしかねます。
- ・マスタークラス関連費用（申込金195ユーロ・受講費598ユーロ）の100%
申込後（現地受講登録後）の取り消しに適用されます。

渡航費用（宿泊費用を除く）

- ・40日目にあたる日から31日目にあたる日まで 旅行代金の10%
- ・30日目にあたる日から3日目にあたる日まで 旅行代金の20%
- ・前々日及び前日にあたる日 旅行代金の50%
- ・旅行開始日及び無連絡不参加 旅行代金の100%

＜その他＞

※このマスタークラスでは次のコンクール・オーディションにおいて成績優秀者に学費免除推薦が認められています。

- ・2024年1月～2025年12月までに弊会主催コンクールにて入賞・入選した方、新人演奏会オーディションにて合格・准合格された方
- ・2024年春期～2026年春期海外音楽大学派遣助成オーディションにて合格・准合格された方

※航空券を自己手配された場合

- ・集合場所は宿泊先ホテル
- ・ご自身で手配した飛行機の遅延等によって、予定されているレッスンに間に合わない場合等の責任は一切負いません（受講費・ホテル代金等の返金はありません）。

※宿泊先の自己手配はできません。こちらが指定した宿泊施設のみとなります。

※練習場所は基本的にホテル内の練習室となります。

※《ウィーンについて》 ウィーンには美術館、コンサートホールなどが多い数あり、文化的な催しが多く開催されています。2024年のイギリス・エコノミストの「世界で最も住みやすい都市」ランキングでは、
ウィーンが3年連続の1位に選ばれています。 このランキングは生活の安全性、医療分野の発達、文化的
レベル、教育の質、インフラの5項目より決定されており、ウィーンがいかに安全で生活しやすい街か、を
示す指標となっています

＜説明会について＞

説明会を12月4日（木）17時にオンラインにて実施予定です。ご参加は事前予約制とし、参加用URLは
お申し込みをいただいた方へご案内いたします。

参加をご希望の方はinfo@ti-tours.comへメールでのお申し込みをお願いいたします。

保護者様のご参加も可能です。

説明会参加申込締切 2025年12月1日（月）16時

株式会社東京国際ツアーズ 池袋支店

観光庁長官登録旅行業1353号 (社)日本旅行業協会正会員

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-13

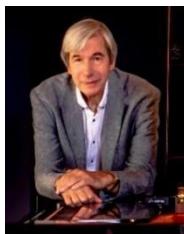
TEL・FAX 03-5927-1069 info@ti-tours.com



ウィーン国立音楽大学マスタークラス担当教授

ピアノ教授：

Alexander RÖSSLER アレキサンダー・ロスラー



ウィーン国立音楽大学元教授。シュトゥットガルト、ミュンヘンにてK. H. ディール、R.ケラーに師事。フィレンツエのM.ティボより奨学金を受ける。 ウィーン、ペルージャにてS.ノイハウスのマスタークラス受講。1981年首席にて卒業。バルセロナコンクール優勝。ポーランドではシマノフスキ受賞記念メダルを授与された。 1973年以降、ソリストまたは著名なソリストの室内楽パートナーとしてヨーロッパや海外で多くのコンサートを行った。 1990年以降、ヨーロッパ、韓国、日本のマスタークラスを定期的に受け持つ。ピアノコンクール審査員。ラジオ出演やCDレコーディング（シューベルト、シューマン、ブラームス等）を行う。レパートリーはブラームスとベートーヴェンを中心となるが、ウィーンクラシック、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、スクリヤービン、シマノフスキ、プロコフィエフも得意としている。現代作品ではジャズ、ブルース、自由即興が挙げられる。

Vladimir KHARIN ウラジミール・カリン



モスクワ生まれ。6歳よりモスクワ音楽院の英才教育コースでピアノを始める。モスクワ音楽院を卒業後、ドイツ・エッセンのフォルクヴァング芸術大学大学院へ進学、優秀な成績で同大学院を卒業。 ドイツ、オーストリア、CIS諸国、フランス、イタリア、日本、中国、インドネシアのコンサートホールより、国際コンクールの受賞者として、オーケストラとの共演、リサイタルや室内楽のために招待を受けている。 ルール地方のピアノフェスティバルに数回出演し、ジョナサン・ダーリントンの指揮によるデュースブルク・フィルハーモニー管弦楽団との共演を果たす。2009年からウィーン国立音楽大学で才能のある子ども達や若者へのピアノ指導を行っている。彼の生徒たちは、数多くの奨学金や国際コンクールで1位を受賞している。それらにはドイツのエトリンゲンでの国際コンクール1位（2020年）、チェコ共和国のコンティーノ・プラハ1位（2021年）、2019年モスクワで開催された若いミュージシャンのためのXXコンペティション「くるみ割り人形」での黄金のくるみ割り人形賞、第3回モスクワ国際「ウラジミール・クライネフ」ピアノコンクール（2019）1位、デンマークのアルフスで開催されたピアニストの国際コンテスト（2019）2位および聴衆賞の受賞等を含む。教師としてのウラジミール・カリンの名前は、世界に広く知られている。審査員として招致される他、世界のさまざまな都市でマスタークラスの指導者として招待を受けてる。

声楽教授：

Sona GHAZARIAN ソーナ・ガツアリアン



ベイルート大学で心理学科卒業。

最優秀の成績で声楽コースを修了する。国際的に名高いオペラハウス（ロンドン・コベントガーデン、パリ国立オペラハウス、ウィーン国立歌劇場、ミラノスカラ座、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、カーネギーホール、ブエノスアイレス、日本、その他）で70以上のオペラに出演。カルロス・

クライバー、コリン・デービス卿、H. B.カラヤン、ゲオルグ・ショルティ卿とリッカルド・ムーティ等著名な指揮者を共演、38年間世界的なキャリアを積む。国際マスタークラスで指導、声楽の技術とオペラ解釈、リート、オラトリオに焦点をあてる。たぐいまれな功績で多数の賞を受賞。名誉歌手、芸術と科学の第一級金メダル受賞者としてオーストリア共和国から栄誉を与えられた。

Zoryana KUSHPLER ソルヤーナ・クシュプラー



リヴィウ音楽院 (Prof. I. Kushpler) で学び、その後ハンブルク 音楽大学 (Prof J. Beckmann) で学ぶ。ミュンヘンで開催されたARDコンペティション優勝者、他国際コンペティションの勝者でもある。

2007年から2020年までウィーン国立歌劇場のアンサンブル メンバーとして、ウルリカ（「仮面舞踏会」）、フェネーナ（「ナブッコ」）、オルガ（「オイゲン オネギン」）、ポリーナ（「スペードの女王」）、マルチエリーナ（「フィガロの結婚」）、マグダレナ（「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」）、ヴァルトラウテ（「ゴッターダン・マルング」）、ブレツィオシージャ（「ラ・フォルツア・デル・デスティーノ」）、アデレード（「アラベラ」）、他多くの役を演じる。同年、フォルクスオーパーのゲスト ソリストとなり、カルメン、プリンツ オルロフスキ（「こうもり」）、マグダレナ（「リゴレット」）、ジュリエッタ（「ホフマンの物語」）を定期的に演じている。また、リサイタル奏者として、双子の妹のオレナと共に、ラインガウ音楽祭、メクレンブルク フォアポンメルン音楽祭、ライツァーレ ハンブルク音楽祭、ベルリン コンツェルトハウス、ウィーン楽友協会など、多くの重要なリサイタルシリーズで歌っている。2012年、フランツ・ウェルザー=メスト指揮クリーヴランド管弦楽団とG.マーラーの交響曲第3番のソロパートで全米デビュー。2014年、フランツ・ウェルザー=メ

スト指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのベートーヴェン交響曲第9番でカーネギーホールにデビュー、ウィーン国立歌劇場で卓越したテノールのプラシド・ドミンゴの隣で「ナブッコ」でフェネーナの役を演じ、ロイヤル・アルバート・ホールでセミオン・ビュコフ率いる「エレクトラ」。同年、フランツ・ウェルザー=メスト指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのベートーヴェン交響曲第9番でカーネギーホールにデビューし、プリンツレーゲンテンシアター（ミュンヘン）でE.ヴォルフ=フェラーリのオペラ「グロビアーネの死」でマルガリータの役を演じた。彼女の創作活動はウクライナと密接に関係している。キエフのウクライナ国立歌劇場とオデッサ オペラ バレエ劇場でカルメンの役を繰り返し演じ、2017年と2018年にはLvivMozArt フェスティバルに参加。2017年にはウクライナ国立歌劇場の150周年を記念してG.マーラーの交響曲第2番で演奏し、2018年にはキエフのソフィースカ広場でのプロジェクト「私はウクライナに帰ります」に出演。2016年、彼女はウクライナの文化と芸術の分野で「今年の人」に選出。2019年以来、彼女はガリシア音楽協会の名誉会長を務めている。Zoryana Kushplerは、いくつかのラジオやテレビの制作に参加している。彼女の最新のCDリリースでは、歌はドミトリー・ショスタコーヴィチ、テキストはマリーナ・ズウェタイエワが客演している。2013年にはドイツ・グラモフォンとウィーン国立歌劇場、クリスチャン・ティーレマンの指揮によるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団との共演でワーグナーの「ニーベルングの指環」の録音に参加している。2023年秋、「グラモーラ」よりウクライナのアリアとオーケストラ曲を収録した新作CDが発売予定。現在も引き続き、ウィーン国立歌劇場とウィーン・フォルクスオーパーにゲストソリストとして出演。2023年よりザルツブルクのモーツアルデウム大学の教授を務める。

ヴァイオリン教授：

Elisabeth KROPFITSCH エリザベス・クロップフィッチ



2011年10月よりウィーン国立音楽大学教授に就任。ウォルフガング・シュナイダーハンに師事。長年アイゼンシュタットのハイドン音楽院で教鞭をとる。国際的な演奏活動を行う一方EMI・フンガロトンからCDをリリース。愛器は1751年製作のガダニーニ“d'Elia 1751”。

フルート教授：

Barbara GISLER-HAASE バーバラ・ギースラー・ハーゼ



ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学にてフルートを学び首席で卒業。在学中から数々のオーストリア若手アーティストコンクールで優勝。室内楽コンクールではユーラシア・カルテットのメンバー

として受賞。1974年、プラハ国際フルートコンクールで受賞。同年、ウィーン音楽大学で教員を始め、ソロやアンサンブル（フルートとギター、フルートとチェロとピアノ等）でコンサートを開催する。1983年、コントラバスからピッコロ・フルートまでを含む珍しいアンサンブルを結成しCDをリリース、ラジオやテレビにも出演。またイスラエル、エジプト、トルコ、イラン、インド、台湾、韓国、南アメリカ、ヨーロッパ諸国等、世界中でコンサートを行う。1984~85年、フルート製造に関する研究プロジェクトでも主要な立場となる。毎年、特別マスタークラスを開催。現在はウィーン国立音楽大学教授。

クラリネット教授／サックス教授：

Kurt Franz SCHMID クルト・フランツ・シュミット



J・M・ハウナー音楽大学で教授を行う。“Zemlinsky Quintet Vienna”と“Collegium Viennense”的創立メンバー。1977年以降ウィーンフォーグミュージックにおいて“Wiener Terzett”で活躍、また1996年以降はGクラリネットにおいて多くのコンサートに出演。コンサート、ソロ演奏、クラリネット・オクタインテットで数多くのラジオ、テレビ番組、CD収録し

た。1977年以降、ウィーンの学校で芸術教育を行い、1995年以降ヨーロッパやアジアでマスタークラスを行っている。現在ウィーン国立音楽大学にてR・イエッテルとペーター・シュミードルと共に研究を行っている。